

おしゃべりしてみませんか、バリアフリーを！ おしゃべりサロン「相互塾」



(第24回)

<入場無料>

老いも若きも大歓迎。Face to Face を大切に！

やったら、できた！ 広がった！

～障害のある市民の暮らしを豊かにする
コミュニケーション・サポート・ボランティア～

日 時：平成14年1月27日（日） 午後2時～4時

場 所：調布市総合福祉センター 4階 視聴覚室（グリーンホール南隣）

語り手：大脇 正昭さんと Communication Port (ComPort) の仲間たち

*手話通訳つき

情報化が急速に進展する地域社会にあって、すべての人々がゆたかな社会生活、人生をおくるためには、「情報リテラシー」や「メディアリテラシー」を各自が身につけることがたいへん重要な課題となってきました。

社会でさまざまに疎外されている、とりわけ障害のある市民にとっては、そのための情報バリアフリーな社会のしくみづくりが求められます。

95年5月、当時の郵政省電気通信審議会「情報アクセス、情報発信は新たな基本的人権」と明示し、誰でも自由に参加できる社会を「共生型情報社会」と呼びました。そうした社会では、高齢者や障害者の社会参加を支援するしくみづくりや“情報アクセス権”の保障が求められてきています。

- ・いわゆる“パソコンボランティア”活動をなぜはじめたか(歴史的展開の踏まえて)
- ・さまざまな障害のある市民のコミュニケーション(近年急速に普及しているパソコン等情報機器、情報技術)をサポートしている活動事例の紹介、デモンストレーション
- ・サポートを受けて、暮らしや新たな社会参加の手段を身につけた障害のある方々の体験談などをお話し、一緒に語り合いたいと思います。

【終了後懇親会(実費)を行います】



主 催：特定非営利活動法人 調布まちづくりの会
連絡先：森下 政信 (TEL & FAX 83-9993)

E-mail mmanob@sepia.ocn.ne.jp

(ウラへ続く)